



# 上野原市

## 第19号

発行者 上野原市議会議長

長田 助成

編集 上野原市議会だより

編集委員会

平成21年10月25日発行

# 議会だより

### もくじ

議長あいさつ・ 議案審議(第3回臨時会)	.....2P
議案審議(第3回定例会)	.....3P
常任委員会報告	.....4~5P
特別委員会報告	.....6~8P
一般質問	.....9~15P
広域行政	.....15P
市民の声・議会活動・ あとがき	.....16P



上野原西部地区民運動会

# 議長

## あいさつ

議長



長田 助成

市民の皆様には、いつも市議会だよりをご覧頂きありがとうございます。

近頃は議会の様子を傍聴される方も増え、その際のルールも守って下さるので大変ありがたく思っております。

八月末の衆議院選挙においては政権交代がされ、新しい政権が開始しました。国の動きを注視しつつ、上野原市の方向付けを考え、市民に不便をかけない自治体運営を心掛けてゆきます。

さて平成二十一年度の九月議会、第三回定例会は、八日から三十日まで日程で開催されました。今議会は補正予算審議の外、三常任委員会に付託

した議案審議と、二十年度決算報告書を審査する決算特別委員会を設置され、議長・監査委員を除く、全議員十八名によって審議されました。

また、八月の臨時議会 で設置されました、市立病院を一日も早く建設してほしいとの市民の要望から「病院建設促進特別委員会」と光ケーブルの「情報通信基盤整備事業検証特別委員会」の活動報告があります。議会として、率先設置された委員会であり、審査結果の内容については、それぞれの委員会報告をご覧いただきたいと思えます。

CATVによる本会議の様子をご覧になった方々からのご意見も多く、

これからも、より一層市民と共にある議会として皆様の付託に応えて参りますのでよろしくお願ひし、あいさつと致します。

## 平成 21 年第 3 回臨時会

平成21年8月3日、第3回臨時会が会期1日間で開催され、議案2件、動議1件及び発議2件の計5件が審議され、下表のとおり決しました。

### 議案等の概要

#### 一、議案第八十号

歳入ではふるさと雇用再生特別基金事業費補助金、緊急雇用創出事業費補助金などを増額。

歳出では情報通信基盤事業費、病院対策事業費、女性特有のがん検診推進事業費、秋山温泉管理費などを増額。

#### 二、議案第八十一号

歳入では一般会計からの繰入金を増額。歳出では総務管理費を増額。

#### 三、動議

議案第八十号の補正予算のうち、情報通信基盤事業費及び病院対策事業費の検討委員会経費にかかる予算を修正するもの。

#### 四、発議第五号

議会として情報通信基盤整備事業について検証を行うための委員会設置。

#### 五、発議第六号

病院建設促進のため、委員会を設置するもの。

## 平成21年第3回臨時会 議決結果等一覧表

議案番号等	議案名	議決月日	審議結果
議案第80号	平成21年度上野原市一般会計補正予算(第2号)	8月3日	修正可決
議案第81号	平成21年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃	原案可決
動議	議案第80号平成21年度上野原市一般会計補正予算(第2号)に対する修正動議	〃	〃
発議5号	情報通信基盤整備事業検証特別委員会設置に関する件について	〃	〃
発議6号	病院建設促進特別委員会設置に関する件について	〃	〃

## 平成 21 年第 3 回定例会

全条例案・予算案を原案どおり可決

平成二十一年第三回定例会は九月八日から九月三十日まで、二十三日間の会期で開催されました。議案二十一件と発議一件が上程され、下表のとおり議決されました。委員会に付託された案件につきましては、各委員会報告をご覧ください。

## 議案等の概要

## 一、議案第百号

市の財政状況等に関する指標として、平成二十年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率が報告されました。いずれも基準値を下回り、良好な状態でした。

## 二、議案第百一号

人権擁護委員の任期満了に伴い、委員に小澤宗道氏を推薦するにあたって議会の意見を聞くもの。

## 三、議案第百二号

人権擁護委員の辞任に伴い、委員に奈良國雄氏を推薦するにあたって議会の意見を聞くもの。

## 四、発議第七号

平成二十一年度予算及び同年度第一次補正予算によって、地方自治体の進めてきた施策や事業について、財政問題で執行に支障が生じることのないよう国に働きかけるため、意見書を提出するもの。

## 平成 21 年第 3 回定例会 議決結果等一覧表

議案番号等	議案名	付託委員会	議決月日	審議結果
議案第 82 号	上野原市国民健康保険の一部を改正する条例制定について	文教厚生	9月30日	原案可決
議案第 83 号	上野原市老人医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃
議案第 84 号	上野原市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃
議案第 85 号	上野原市教職員住宅条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃
議案第 86 号	平成 21 年度上野原市一般会計補正予算(第 3 号)	総務 文教厚生 建設経済	〃	〃
議案第 87 号	平成 21 年度上野原市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第 2 号)	文教厚生	〃	〃
議案第 88 号	平成 21 年度上野原市国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第 1 号)	〃	〃	〃
議案第 89 号	平成 21 年度上野原市老人保健特別会計補正予算(第 1 号)	〃	〃	〃
議案第 90 号	平成 21 年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 2 号)	〃	〃	〃
議案第 91 号	平成 21 年度上野原市介護保健特別会計補正予算(第 1 号)	〃	〃	〃
議案第 92 号	平成 21 年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)	建設経済	〃	〃
議案第 93 号	平成 21 年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第 2 号)	文教厚生	〃	〃
議案第 94 号	平成 21 年度上野原市巖財産区特別会計補正予算(第 1 号)	総務	〃	〃
議案第 95 号	平成 21 年度上野原市病院事業会計補正予算(第 1 号)	文教厚生	〃	〃
議案第 96 号	上野原市道路線の廃止について	建設経済	〃	〃
議案第 97 号	上野原市道路線の認定について	〃	〃	〃
議案第 98 号	平成 20 年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	〃	認定
議案第 99 号	平成 20 年度上野原市病院事業会計決算認定について	〃	〃	〃
議案第 100 号	平成 20 年度上野原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について		〃	受理
議案第 101 号	人権擁護委員候補者の推薦について		〃	同意
議案第 102 号	人権擁護委員候補者の推薦について		〃	同意
発議 7 号	地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書		〃	原案可決

# 総務常任委員会報告

委員長 鈴木敏行

九月十八日、委員全員出席のもと委員会を開催、付託議案について審査した結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

## 付託議案の概要

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

### 一、議案第八十六号

(総務常任委員会所管に関する補正予算)

歳入では、上野原小学校の耐震補強事業に充てられる地域活性化公共投資臨時交付金などが増額。歳出では、甲東出張所の外部鉄部塗替修繕費三百八十四万円、住民情報システム及び内部情報システムの入替えを検討するためのコンサルタント業務委託料として三百二十四万二千円の増額。その他、消防費の中で、救

急服・救助用ヘルメット等の交換経費や、消防装備品の充実強化のための増額等がありました。

主な意見では、甲東出張所の外部鉄部塗替修繕

について、腐食がかなり進んでおり、もっと早く修繕しておけば、これほどの費用をかけずに修理できたのではないか。今後こうしたことのないよう、施設全般にわたり維持管理をしっかりとすべきである。また、こうした工事の契約にあたっては一般競争入札を導入するとともに、予算執行に当たっては地元の業者に配慮すべきであるとの意見がありました。

### 二、議案第九十四号

四方津公民館トイレ等改修費他六百二十四万八

千円を一般会計に繰出し、それに伴い予備費を減額するもの。

提出された各課等の補

# 文教厚生常任委員会報告

委員長 田中英明

九月二十四日、委員全員が出席し委員会を開催、付託議案について審査した結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

## 付託議案の概要

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

### 一、議案第八十二号

出生育児一時金の経過措置に伴う改正。

### 二、議案第八十三号

高額医療・高額介護合算制度の新設による改正。

### 三、議案第八十四号

上野原市乳幼児医療費助成対象を中学三年生までとするための改正。

### 四、議案第八十五号

未利用のへき地教員住

正予算について、詳細に審査した結果、いずれの事業も重要なものであると判断されました。

宅有効活用のための改正。

### 五、議案第八十六号

(文教厚生常任委員会所管に関する補正予算)

七十五歳以上の温泉利用を無料にし、福祉と健康を増進するための秋山温泉利用料金無料事業費、子育て応援手当を、平成二十一年度に限り対象者を第一子まで拡大するための経費、乳幼児医療費助成の対象年齢引き上げに伴う経費の増額など。主な意見としては、医療や介護などの手続きは、高齢者には理解しがたい点が多いので、地域包括支援センターを拡充して支援していくべきである。

医療費助成の対象年齢引き上げに伴い、国民健康保険特別会計の歳入となる財政調整交付金が減額となる。金額の試算を早急にすべき。それにより国保税の引上げも懸念されるが、国保会計の健全運営のためにも、本来は国保運営協議会に諮るべき。また福祉課・市民課の連携も取れていなかったとのことで、事務執行上の改善が必要です。

### 六、議案第八十七号

### 七、議案第八十八号

### 八、議案第八十九号

### 九、議案第九十号

### 十、議案第九十一号

繰越金確定等に伴い、歳入歳出ともに増額補正。

### 十一、議案第九十三号

仲間川簡易水道維持管理のため、修繕費を増額。

### 十二、議案第九十五号

新病院建設に伴う基本設計等の経費の増額。

# 建設経済常任委員会報告

委員長 杉本征男

九月二十五日、委員全員が出席し委員会を開催、付託議案について審査した結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

## 付託議案の概要

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

### 一、議案第八十六号 (建設経済常任委員会所管に関する補正予算)

農林費では、鳥獣対策に伴う経費、林道腰掛線等の水路工事の事業費が増額。商工費では企業立地推進事業助成金が増額。土木費では、地域環境整備基金からの繰入金と、アスベスト飛散防止対策事業補助金を増額し、同額を事業費として市道新田湖畔線道路水路改修工事請負費と、アスベスト飛散防止対策事業に係る

事業者への補助金に計上。その他、羽佐間団地や市営住宅の老朽化に伴う修繕費などが増額。

主な意見としては、鳥獣対策に関して、狩猟だけでなく電柵についても市の方で用意し、市民に提供してほしい。恒久的的対策として、防護柵の設置に対応してほしい。

企業立地推進事業について、助成を受けた企業が操業をやめたり、市外へ移転したときなどを考え、助成金の支出基準や、雇用されていた従業員の雇用確保について、より細かく取り決めるべき。また、市道に草木が生い茂り通行しづらい場所があるので、道路沿いの地権者の理解を得ながら整備してほしい。登山道

についても、重要な観光コースであるので、地域の方々の協力を得ながら維持していつてほしい、などの意見がありました。

### 二、議案第九十二号

桂川流域下水道建設費

負担金の、県からの内示額変更による増額補正等。

### 三、議案第九十六号

### 四、議案第九十七号

市道堀頭押出線の路線延長に伴い、市道路線の廃止及び認定を行うもの。

## 閉会中の文教厚生常任委員会報告

委員長 田中英明

閉会中の継続調査として八月五日に委員全員が出席し委員会を開催、介護、障害者支援事業に関する事項を調査しました。

や家族の総合的な相談の受付、虐待予防や権利擁護活動などがあります。

まず、長寿健康課職員から、地域包括支援センターの概要について説明を受けました。当センターは平成十八年四月市役所内に設置され、ケアマネージャー、社会福祉士、保健師がチームとなり、高齢者を支援しています。

主な事業は、高齢者の介護予防として、元氣いきいき教室、独居老人支援として緊急通報システム事業、地域自立生活支援システム事業、高齢者等見守りネットワーク訪問事業、食の自立支援事業配食サービスなどです。

委員からは、地域包括支援センターは機能が独立したものであるの、本来の役割を明確にし、本来の目的に沿ってしっかりとした運営を行い、福祉事業が後退することなく、進展していく方向に認識をもつべき、また、情報通信基盤整備事業を福祉にも十分に活用すべき等の意見が出ました。

その後、現地調査として、社会福祉法人平成福祉会フェリーチェ上野原に出向き、施設の状態について視察いたしました。

現在多くの待機者がおられることから、市内各福祉施設の連携の強化の必要性を確認しました。



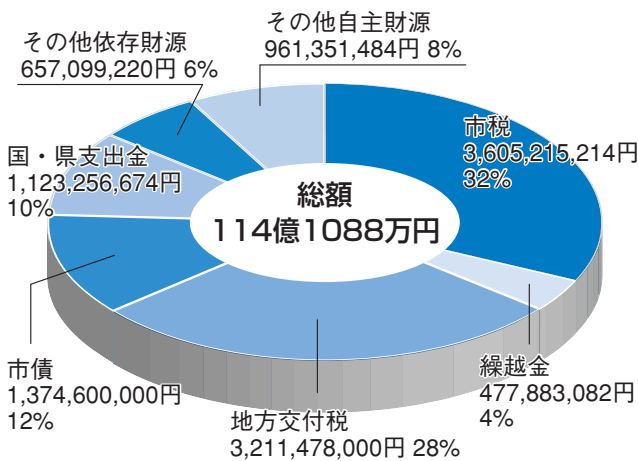
文教厚生常任委員会

# 決算特別委員会報告

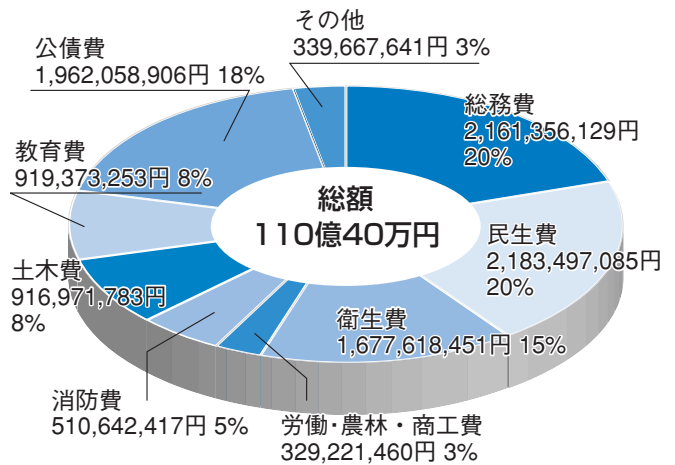
委員長 関戸将夫

## 平成20年度一般会計決算のすがた

性質別一般会計歳入状況(単位・円)



性質別一般会計歳出状況(単位・円)



九月十五日から十七日まで三日間、委員会を開催、平成二十年度決算について議会の認定に付するもの二件を慎重に審査した結果、いずれも認定すべきものと決しました。

**付託議案の概要**

一、議案第九十八号  
平成二十年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について

審査の際の意見としては、行財政改革により、早期退職制度や手当てカットにより、人件費・物件費の減額が図られているが、職員の労働意欲が低下しないよう、事業選択を行い費用対効果について精査する必要がある。税や使用料等の収納体制の更なる強化により自主財源確保に努力し、歳出面においては、経費節減を積極的に推進していく必要がある。

委託について、市役所

庁舎を始め、全般的に委託業務の内容を精査するとともに、契約の方法も随意契約が多すぎるので、改善する必要がある。

また、国民健康保険、老人保健、介護保険の各特別会計の、一般会計からの繰入金を抑制する対策として、予防医療の施策の充実が重要である、などの意見がありました。

二、議案第九十九号  
平成二十年度上野原市病院事業会計歳入歳出決算認定について

審査の際の意見としては、入院診療に対応できていない診療科等の常勤医師や、医療従事者の確保を重要課題として、指定管理者と連携を図りながら引き続き地域住民が安心して受診できる医療体制の確保に努力するとともに、新病院の早期建設に向け一層の努力を求める意見等がありました。

# 情報通信基盤整備事業検証 特別委員会報告

委員長 関戸将夫

第三回臨時会で議決されました閉会中の継続調査として、委員全員出席のもと八月中旬に委員会を三回開催し、情報通信基盤整備事業検証に関する事項の調査を行いました。八月三日は委員会の運営方針等を確認しました。八月十一日の委員会では、各委員が提出した検証項目を整理しました。これらについては、事業の進捗状況、上野原市とUBCとの係わりとして、事業区分内容、経営状況や第三セクター決定の経過、IRU契約の内容、既に地上デジタル放送のサービスを開始している当市において、デジタル放送受信のための共聴施設改修は国庫補助事

業の対象となるか、市で敷設した光ファイバ網をNTTが借り受けて使用することが可能か、「地域イントラネット基盤整備事業」及び「情報通信基盤整備事業」を中止した場合の補助金返還について等、多くの検証項目が挙げられました。八月二十六日の委員会では、検証項目のうち、上野原市に係わる部分として、本事業の実施にいたる経過、事業の進捗状況、市とUBCの関わり、IRU契約の内容について、担当課に説明を求めました。当事業については、情報が錯綜し、市民に混乱を与えています。次回は市民が困惑して

いる喫緊の項目を優先的に検証していくこととし、閉会中の継続調査とすることに決しました。

# 病院建設促進 特別委員会報告

委員長 尾形重寅



閉会中の継続調査として、八月に委員全員が出席し委員会を二回開催、新病院の早期建設促進に關して調査を行いました。八月三日には委員会の運営方針等の確認、八月十日の第二回委員会では、病院対策課職員に出席を求め、これまでの経過と現況の説明を求めました。国の経済危機対策として、医療機能の強化や医師確保等の取り組みを支援する事業と、IS値〇・六未満の二次救急医療機関等から緊急に耐震化整

備を行う医療施設耐震化臨時特例交付金事業の二つが示され、当市は医療施設耐震化臨時特例交付金事業の条件を充たしており、事業導入への検討を進めているとのこと。さらに病院事業債と合併特例事業債の同意についても受けられる見通しとのことでした。本年十月に基本計画に着手したとしても、平成二十二年十二月の着工が精一杯で、時間的に厳しいが、九月定例会に基本設計費等を予算計上した

いとのことでした。

この有利な事業は是非とも導入すべきで、平成二十二年度までの限定事業であり、日程が非常に厳しいので、上野原市立病院建設委員会が策定した建設基本計画を基として、見直しが必要な部分は検討し、早急に進めるべきであることを委員全員で確認しました。

また、補助事業導入に当たっては、指定管理者である地域医療振興協会とも協議を密にすべきとの意見もありました。市民が望む新病院の早期建設について、当委員会としても、当局と連携を密に今後一層の建設促進を図っていきます。



# 議員定数検討特別委員会報告

委員長 小笠原俊将

第二回定例会で議決され、八月五日、委員全員が出席し委員会を開催、議員定数に関する事項の調査を行いました。

前回調査した県内市議会の議員定数の状況や人口規模別議員定数資料を踏まえながら、各委員から意見を伺いました。

主な意見としては、定数について、近隣市の状況や人口だけで決めるのではなく、大幅な削減をするのと行政とのパイプ役といった機能が低下するので、現状維持が望ましいが、削減するとしても二名まで。

当市の議員報酬は県内では最も低いため、ある程度標準まで上げるべきで、報酬についても併せて検討すべきである。

また、議会の活性化と行政チェックの徹底と議会の政策形成、住民本位の議会運営を図るためには、どんなに減らしても二名が限度である。

専門職としてみれば、それにふさわしい議員報酬が必要で、現状の報酬だけでは調査費で費やされてしまう。議員報酬の増額が厳しければ政務調査費の支給も検討すべき。

単純に近隣市と比較するのではなく、当市は合併してまだ五年目を迎えたばかりであり、合併の経過や広域化した地域性を考慮すると現状維持の二十名が望ましい。報酬については、費用弁償もカットした経過があるが、定数を維持する中、報酬

も現状維持すべきである。このように、議員定数は報酬の関係や地域性を考慮して決めるべきとの意見が多数を占めました。

議員定数は、市民とのパイプ役として市民の多様なニーズを市政に反映するためにふさわしい数を確保すること、複雑・多様化する行政を効率的に調査する常任委員会の定数確保、歴史的・地理的条件や議会の機能と役割を考慮すると、大幅な削減はあってはならず、それには議員の政策立案能力の確立と、議会の活性化、なにより議会活動を市民によく知っていただき定数や報酬について理解を求めていくべきです。

議員定数は、議会の活性化という観点をも十分に踏まえながら、今回は更に調査を進めていくこととしました。

としました。

県内13市の人口・面積・財政規模等

	A	B	A÷B	C	D	C÷D
市名	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(1km <sup>2</sup> 当たり/人)	財政規模(歳出ベース/千円)	議員定数	議員一人当たりの財政規模(千円)
甲府市	198,559	212.41	934.79	66,121,407	32	2,066,294
北杜市	47,582	602.89	78.92	29,127,768	22	1,323,989
笛吹市	71,026	201.92	351.75	27,722,344	24	1,155,098
南アルプス市	72,160	264.06	273.27	25,694,406	24	1,070,600
富士吉田市	51,582	121.83	423.39	17,390,490	20	869,525
山梨市	37,915	289.87	130.80	15,894,072	20	794,704
甲斐市	74,001	71.94	1028.65	21,722,973	28	775,820
甲州市	34,797	264.01	131.80	15,506,174	20	775,309
都留市	34,279	161.58	212.15	13,127,119	18	729,284
大月市	29,408	280.30	104.92	12,115,093	18	673,061
韮崎市	33,201	143.73	231.00	12,467,267	20	623,363
中央市	31,598	31.81	993.34	11,971,749	22	544,170
上野原市	27,929	170.65	163.66	10,621,245	20	531,062
13市の平均	55,085	203.57	270.60	20,681,605	20.6	1,003,212

人口＝平成20年10月1日現在(山梨県調査)  
 面積＝平成19年度総務省統計局調べ  
 財政規模＝平成19年度決算による  
 議員定数＝平成21年4月1日現在



# 新天神トンネルと 簡易水道組合に ついて



山口好昭議員

一、情報通信基盤整備及び新市立病院建設検討委員会設置の為の予算化がされないが今後の対応は。

## 【市長】

六月定例会と八月の臨時会において、その経費は予算化に至りませんでした。したが、多くの市民のご支援で市政の担い手となった私としましては、市民との公約ですので市長の諮問機関としての検討委員会の立ち上げの準備を進めているところであります。

二、市組織の概要と職員数は。

## 【総務課長】

市長部局は四部十二課一支所、百八十八名、議会事務局、教育委員会、消防本部で八十名、合計二百六十八名です。

三、機構改革はいつ、ど

のような内容を考えているか。

## 【市長】

現在の縦割型行政では市民ニーズに答えきれない。なので横断的組織体制、部課の統合、部長制の廃止等は検討しなければならぬ課題だと考えています。来年四月実施にむけて進めます。

四、新天神トンネルの着工時期、事業費等は。

## 【建設課長】

県との協議において本年九月の県議会において承認がされると、着工の運びとなっています。又期間はトンネル本体の掘削完了が平成二十二年末の予定となっております。事業費は約十二億円と伺っております。又、鶴島側トンネル付近の橋梁については今年度及び来年度



現天神トンネル

の渇水期に施工予定です。

尚、トンネル事業後は

秋山側坑口から市道、田野入線までの市の予備設計を基にルート選定をし引き続き事業が行えるよう要請を行っています。

五、少子高齢化、子育て支援は。

## 【長寿健康課長】

高齢者秋山温泉無料事業については七十五歳以上三千五百三十二名を対象とし九月議会で承認が得られると十一月の広報でお知らせする予定です。

## 【福祉保健部長】

小中学生の医療費無料化については、医療費助成の対象年齢を中学校三年学終了まで引き上げる

為の、条例改正案と補正予算案を本定例会に上程しているところです。

六、本市の水道事業の概要、簡易水道組合の格差是正、今後のあり方、施設整備費補助アップは。

## 【生活環境課長】

本市の水道は、上水道、直営簡水、組合簡水、小規模水道があり上水道、直営簡水以外は傘下の組合住民が維持管理を行っています。市では現在将来の統合、広域化を見据えて地域水道ビジョンの策定に着手、その中で施設一体化、運営管理の一体化の統合も考慮、検討します。

# 情報通信基盤 整備事業、 病院建設について



市川順議員

一、情報通信基盤整備事業  
①市が提案した情報通信基盤整備事業の検討委員会の運営予算について去る八月三日臨時会において否決されましたが、その後の対応は。

## 【市長】

検討委員会の設置は市民との公約でありますので市長の諮問委員会として設置し、大学教授、会計士、弁護士、学識経験者などで構成し九月中には委嘱し、十月から五回程度開催します。

②検討委員会の開催には市が事前に調査及び整備を行う必要があり、許可書類、仕様書などの準備状況を伺います。

## 【企画課長】

諮問委員の要請により資料の対応ができるようになります。

③各共聴組合、個人アンテナは国の施策の一つであり共聴組合の存続を市民等が求める場合は、手続きなど支援すべきと考えるが如何がお考えか。

## 【市長】

情報通信の担当部署に相談窓口を設け共聴組合の要望に対応します。  
④第三セクター経営の状況は今期三月決算で三億三千七百三万円の純損失を計上し、収入額四千九百六十四万円の約六倍にも上り、危機的状況と判断するが。

## 【企画課長】

ご指摘された第三セクター（UBC）の経営状況を認識しており、今後の企業努力を望みます。

## 【要旨】

共聴組合も国の助成を受けており、非常に廉価



共聴組合テレビアンテナ

で市民の要望を妨げてはならない。U B Cもその中の一つであり、市として公平な取扱をすべき。

⑤山梨県内のN T Tの光ケーブル地デジ送信（N G N・次世代ネットワーク）は大月市まで拡大、この実態についてご所見を伺います。

【市長】

ご指摘のように認識しております。将来上野原市でも地上デジタル放送が視聴できる一つとして考えています。

二、病院検討委員会

①病院検討委員会が八月三日臨時会で否決され、その対応方法は。

【市長】

市民とお約束した公約でありますので市長の諮問委員会として大学関係者、行政関係者で構成し、九月中旬に委嘱し、十月から三、四回開催します。

②医療施設耐震化臨時特例交付金及び地域活性化・公共投資臨時交付金の手続きの進捗は。

【市長】

病院建設のため二つの交付金手続きを行い、地域活性化交付金は政権交代により見直しの対象になっており、確実に出来るよう関係省庁、地元の国会議員にさらに働きかけを行います。

## 病院の今後と スマートインター チェンジについて



尾形重寅議員

一、市立病院建設の今後の対応について

医療施設耐震化臨時特例交付金を受け病院の改築計画を実行するのとこのですが、現在の県への対応は。

【市長】

医療施設耐震化臨時特例基金（仮称）活用に係る移行調査を七月三十一日、二回目を八月十二日付けで山梨県福祉保健部長に提出しました。内容は改築ではなく、新築で申請しています。

【再質問】

定められている事業期間と、市長の考えは。

【市長】

事業期間は、平成二十二年中に工事を着工し二十三年度中に完成することになっています。基本計画では二十三年七月

の完成予定ではあるが、交付金を頂く関係上手続きに時間が遅れますので、平成二十三年度内の着工を目指しています。事業期間を考え、基本計画を尊重しながら若干の修正を加え対応したいと思えます。

二、スマートインターチェンジ（S I C）設置計画の計画報告と今後の建設計画について

六月の補正予算で四百万円の委託費が中央自動車道S I C調査費として予算化されましたが、現在の進捗状況は。

【建設課長】

山梨県道路整備課高速道路推進室とS I Cについて現在協議しています。県では、談合坂サービスエリアS I Cの概略設計業務委託や、交通量推計

業務、採算性の検討業務委託等を既に発注しており、県の進捗状況により市の委託業務内容について協議を重ねています。市としてもこの調査により具体的な方向性・計画を基に国・県・中日本高速道路に働きかけを行い、早期実現に結びつけるよう取り組みます。

【再質問】

S I Cの整備により、周辺の土地利用は飛躍的に向上してくると思われ

ますが、市はこれを契機に周辺開発も視野にいれた土地利用方策また地域まちづくりの観点からの事業計画等を視野に入れ

【企画課長】

S I C設置による経済効果は大きなものとなると認識しています。土地の有効性について検討するとともに、S I C設置が地域経済の活性化に直結するよう土地利用を考えていますので、今後とも実現に向けた取り組みをしていきます。

【要望】

鶴川沿いには大きな施設が三つほどあるが、旧甲州街道沿いや仲間川地域にはそういうものがないので、バランスがとれるように見定めながら税金を使っていたきたい。



談合坂SA（上り）

## IRU契約と 産・学・官協働の まちづくり



長田喜巳夫議員

一、情報基盤整備事業について

IRU契約は、地域イントラネット分、第一、二工区分、第三工区分の三件について締結しているが、この契約の年数は何年か。また両者の同意がなければ破棄、終了できないのか。及びNTTとの協議の状況は。

【企画課長】

契約期間は十年であり、地域イントラネット分の契約解除の条件は、相手が破産手続きの開始や有線テレビジョン放送事業の休止等したとき、並びに契約に定める重要事項に違反したときなど相手の同意を得て解除できます。また第一、二、三工区分については、相手が前段の状況に陥った場合は、同意や催告をせず

に契約を解除できます。

NTTとは八月五日に協議を行い、当市の光ファイバケーブルを利用し、電話を含めたNTT東日本の提供する同等のサービスができるか調査依頼を行いました。

二、病院建設について

市長の諮問機関として検討委員設置をするとしているが、すでに病院建設については、国の臨時特例交付金の申請など予算獲得を進めている。

また大学の寄付講座を支援し産科医の派遣を受けたいと意向だが、今後の病院のあり方、検討委員会についての考えは。

【市長】

市長の諮問機関として協議会を設置し、専門家の意見等を頂き、東部医療圏との連携等ニーズの

高い病院を創っていきま  
す。同時に大学の寄付講  
座を支援し、産科医の派  
遣をお願いしていきます。  
三、産・学・官協働のま  
ちづくりについて

地元には帝京科学大学  
があります。関係する機  
関との連携により、まち  
の課題の検討、問題解決  
に向けてどう取り組むか。

【市長】

私の政策の基本方針で  
ある住みやすいまちづく  
り、多くの人が訪れてく  
れる魅力あるまちづくり  
を市民、商工関係者、大  
学の方々と共に力を合わ  
せ推進したいと考えてい  
ます。八月には帝京科学

大学の学長と面談し相互  
連携の進め方について打  
ち合わせを行いました。  
今後の活動を地域経済の  
活性化につなげていきたく  
いと考えています。

四、ソーシャルビジネ  
ス・コミュニティビジネ  
スについて

地域資源等を活用し地  
域の課題を解決していく  
のがこのビジネスです。  
国のメニューは。

【経済課長】

新たなビジネスの創出  
と格差是正を図る山村再  
生総合対策事業や農村コ  
ミュニティ再生・活性化  
支援事業、空き家再生推  
進事業などがあります。



帝京科学大学

## 情報通信基盤 整備事業と 市立病院の充実



尾形正巳議員

一、情報通信基盤整備事業について

この事業は維持管理費  
が五億円かかるとか、東  
京五波はとれないとか市  
民を不安にさせる様々な  
噂がありました。しかし  
今東京五波はきれいに観  
られます。それでも市長  
はこの事業について中止  
を前提に見直し、通信は  
NTTに任せ、テレビは  
共聴組合に整備させると  
言っており、共聴組合を  
続けるような話をしてい  
るようですが、それは市  
長の意思ですか。

【市長】

情報通信基盤整備事業  
につきましては、テレビ  
はなるべく共聴組合を活  
用するよう総務省も言っ  
ていますし、NHKでも  
積極的に全国に展開して  
おりますので、その意味

で私は共聴組合を活用し  
てテレビを観るのがいい  
のではないかと考えてい  
ます。最終的には協議会  
を立ち上げ、それぞれの  
専門家に議論をいただき、  
その提言を市政に反映し  
ていきたいと思えます。

【再質問】

この事業を中止を前提  
に見直すと、市民に大変  
な問題を背負わせると思  
います。国や県、NTT、  
NHKなどを調べればす  
ぐにわかるはずですので、  
国や県などの関係機関を  
調べ、その調査結果を市  
民にわかるよう説明して  
いただきたい。

【市長】

八月の議会で議会とし  
ても検証委員会を立ち上  
げ、検討の最中でありま  
す。また私としても市長  
の諮問機関として立ち上



上野原市立病院の受付機

げていくことになってい  
ます。せっかく立ち上げ  
た委員会を無視して、総  
務省に勝手に行くことは  
どうかと思いますので、  
適切な時期に総務省に伺  
いたいと思います。

二、市立病院の充実につ  
いて

市長就任以後、市長が  
呼びかけた医師が市立病  
院にいるのか。また、小  
児科や産婦人科の設置に  
ついて、どんな取り組み  
を行い、いつできるのか。

【市長】  
公約の中で、市長に  
なったら産婦人科や小児  
科の医師を連れてくるこ  
は言っておりません。

私が新しい病院をつく  
るとき、または開院する  
時にはそういう人たちが  
確保できるような政策の  
中でそこまで踏み込んで  
いきたいと約束したわけ  
であって、今後はそのた  
めに開院に向けて、病院  
のあり方、あるいは産科、  
小児科、救急医療に対す  
る考え方を協議会の委員  
の方々に知恵を借りなが  
ら私の公約の実現にむけ  
てご意見を伺う予定です。

【要望】

市民が大きな期待をし  
ていますので、小児科、  
産婦人科の早期の設置に  
ついて積極的な行動をお  
願います。

### 新型インフルエンザ 対策・情報通信 基盤整備事業



杉本公文議員

一、新型インフルエンザ  
対策について

県内でも学校等にて急  
速に集団感染が拡大して  
いるが、本市の状況及び  
対策はどうか。

【長寿健康課長】  
小中学校等で二学期を  
迎え全国的に集団感染が  
拡大している。  
現在、市内の小中校に  
て、五名のインフルエン  
ザ疾患の患者を確認して  
いるが、休校等の処置を  
取った所はない。  
感染時の学校や病院へ  
の対策については、各担  
当課と連絡を密に情報の  
確認を徹底、国の指針に  
基づき対応します。

【要望】

急速な感染が心配され  
る。費用面を含め緊急時  
に対する万全な対策の準  
備を願いたい。

二、光ファイバ事業につ  
いて

①この事業で市は、千三  
百キロの膨大な光ケーブ  
ルを設置したが、いずれ  
撤去しなくてはならない。  
その撤去費用は。

【企画課長】

業者の積算では、十一  
億二千万円です。

【意見】

ケーブルの設置に十五  
億、撤去に十一億です。  
今、中止しなくてもい  
ずれ撤去は必要になる。  
市が参考にした日立市同  
様、三セク（UBC）に  
負担させれば市の二十六  
億円の負担は無かった。

【企画課長】

市は、大変な事業を始  
めてしまつて残念です。  
②共聴受信組合への相談  
窓口はいつ設置するのか。  
早急に設置します。

③NHKの支援事業説明  
会も開催すべきだが。

【市長】

九月議会が終わつた頃  
NHKに要請したいと考  
えています。

④地権者の電柱承諾を取  
らないで設置したケーブ  
ルの撤去は。

【市長】

同意を得る事が必要と  
考えますが検討委員会の  
結論を待つて最終的な判  
断を下したい。

⑤IRU契約書を市民に  
公開できない理由は。

【企画課長】

工事がまだ実施中、市  
民に公表すると数字が錯  
綜する恐れがある。

⑥UBCの二十年度売上  
約五千万円、純損失は三  
億三千七百万円、借入れ  
残高も約八億五千万円も  
ある。経営の見通しは。

【企画課長】

上野原中心部がサービ  
スエリアになるなど、加  
入者の増加が見込まれる。  
市は企業努力を要望する。

⑦一年間も手続きを放置  
し、契約書を隠し続け  
た職員の違法行為（不作為）  
の調査と責任は。

【市長】

意識的な行為ではない  
と思うが、諮問機関で検  
証する中で明らかにし必  
要な処置をとりたい。



インフルエンザ治療薬

# 経費節減と 衛星中継無線 電話の配備



服部光雄議員

## 一、経費の節減

委託料は毎年予算の一割約十億円を超えているが、コンサルタントを用いるなど抜本的対策を講ずべきではないか。

## 【総務課長】

今後検討して行きます。

## 二、一般競争入札

何でも一般競争入札では地元業者の仕事が不当に安くなったり、それ迄働いていた市民の給料が大幅に引き下げられる心配がある。

## 【総務課長】

充分注意していきます。

## 三、大学との連携強化

市にある大学をうまく活用すべきである。

## 【市長】

先日市の幹部と大学を訪問、学長始め大学幹部の方達とお会いし、今後の協力関係について協議

したところです。

## 四、地震防災

発災時の緊急通信連絡手段としては衛星中継無線電話が最も有効だとし、新潟県小千谷市の実績に基きこれ迄に何度もその整備を求めてきた。

しかし今もって市役所と秋山の二台しかない。

## 【総務課長】

今年は西原支所に設置を予定するなど、順次整備していきます。

## 【意見】

一台二十万円といわれるが、十台あればコモアを加えて全地域に配備できる。あと八台二百万円がなげ出せないのか。

## 五、市立病院と市長方針

## (一) 病院の見直し

市長は市立病院の運営に不信感を示しているがなぜなのか。

## 【市長】

これでいいとは思っておらず、見直しは当然だと考えています。

## (二) 要求水準の提出

市長は病院に求める医療レベルがどの程度達成可能かを「現指定管理者と今後指定管理者として考えられる団体」に提出してもらおうといっているが、これは契約の破棄が前提ではないのか。

## 【市長】

昨年契約したばかりの振興協会との契約を破棄する考えはありません。

## 【意見】

契約は信義誠実が大原則であり、それを判断するのは相手側である。

## (三) 大学への寄付

市長は医学部に寄付することで産科医の確保をいうが、これは都道府県の仕事で、山梨は山梨大の参加に毎年三千万円寄付し、これで助産師の教育依頼がやつとである。

## 【市長】

市が直接やって悪いことはなく、事実これで島の医師を確保しているところもあります。

## 【意見】

産科医一人に五千万円は必要といわれ、三人なら軽く一億円を超える。それを補助金から引くのは契約違反である。

# 情報通信基盤 整備事業と 入札制度



小笠原俊将議員

## 一、情報通信基盤整備事業について

①この事業については、平成十八年二月、U B Cへ六百万円を出資して、第三セクターとしたいとする説明が僅かな時間でされました。その後議会で議決され、このことが、市民に知れるにつれて反対の声がだされました。

質問の一つは、わずか数社の仲間内のU B Cを第三セクターの相手に決められた時市役所内でどんな議論がされたのか、株主の公募をなぜしなかったか。

## 【企画課長】

平成十八年六月のC A T V事業についての総務常任委員会への報告書があります。それによりまずと、事業の実施にあたり同様の考えをもつもの集まりでなければ、市

民の立場に立って安価な事業の提供が出来ない。U B Cが上野原市にたいしてC A T V事業の実施の提案を行うに当たってこれまでお世話になった上野原市にたいし何か役に立つことはないかと考えた時、市民の立場を考慮した事業の実施の提案にあたっている。

市としては参加は少ないが、市民の立場を考慮した組織であるとして第三セクターの相手とした。公募については当時の助役が担当をしていました。後で詳しい報告をいたします。

②U B Cの経営状況について、今年三月の第四期決算で、三億三千七百万円の赤字となっておりますが、市はどう考えてい



衛星中継無線電話

るか。総務省の指針で経営悪化時の対応がいわゆるUBCとの取り決めはあるか。

【企画課長】

UBCの経営に関しましては加入が少なく心配をしていますが、契約についてはですが、助成の関係と告知端末の運用の二点です。

③総務省の指針で第三セクターが倒産をした時にどう対応するか、上野原市では取り決めがあるか。

【企画課長】

UBCの資本金二%で六百万円の範囲内の責任と考えます。

④地デジは国の事業だが

国が方針をきちんと出していない。補助金をチラつかせながら、地方に押しつけている。

テレビ、通信をどういう方向でやるのか、国に要請すべきだ。

【市長】

小泉内閣でIT立国を打ち出したが最近は行き過ぎたとして修正の方向にむかっている。この方向を見極め、市としても慎重に対処したい。

二、入札制度について  
平成二十一年の入札三十六件が、落札率九十六%と高い率である。制度の改善を要請します。



入札使用箱

## 新上野原市立病院の 早期建設に 取組め



尾形幸召議員

一、市立病院について

①現在の病院建築年度と耐震基準値は。

②耐震基準調査の結果、外来・入院・新館の各病棟で特に危険建物は。

③現在までの累積赤字は。

④二十年度の損金処理となる未収金は。

⑤二十年度末の病院事業債の残高は。

【病院対策課長】

休館病棟は昭和四十五年の建築で三十九年経過、IS値は横方向〇・三縦方向〇・八三で、新館病棟は昭和五十五年建築で二十九年経過、IS値は横方向〇・六九、縦方向〇・五六で、IS値が〇・六以下は大きな地震で建物が倒壊・崩壊の可能性があります、休館・新館共に南北方向のゆれが特に弱い。

未処理欠損額は九億六

千二百八万七千円で、未

収金残高は七月十日現在二百二十四千円。病院事業債残高は二十年度末で、

七千二百四十七万円で、  
⑥国の二十一年度補正予算である、医療施設耐震

化臨時特例交付金と地域

活性化公共投資臨時交付金の各見込み金額は。

⑦新病院建設の具体的事項は、また、建設地は。

⑧現在および、今後予定の指定管理者への要求水準書の具体的説明を。

⑨現在の指定管理者の契約解除はあるか。

⑩大学の寄付講座への寄付とは、年額いくらか、また、充当年数は、現指定管理者の契約金を減額

するの、契約金差金は。

⑪新病院建設の財源は。

【市長】

政権交代により確かな

情報ではありませんが、医療施設耐震化臨時特例交付金は五億円程度、地域活性化公共投資臨時交付金は六億円程度で合計十一億円を見込み、政権

が変わっても国に要望します。新病院建設のために広域的視野を捉え、旧上野原中学校跡地で県に申請、病床数百三十五床

で、手を上げることが最優先としました。二十二年度に着工二十三年度に開院を目指します。建物・病院の一般的なものの維持管理、運営業務まで含めての水準です。

現在の指定管理者である地域医療振興協会以外

は予定せず、病院形態も公設民営です。

協議会の検討結果にもよりますが、寄付講座への寄付を行なう場合は指定管理者と話し合います。寄付金は年額五千万円から一億円で、充当年数は五年から六年です。

【企画課長】

新病院建設の財源として、地方債の病院事業債、市町村合併特例債、国の平成二十一年度補正予算である、医療施設耐震化臨時特例交付金、地域活性化公共投資臨時交付金、対象外として、公立病院建設基金、病院事業会計の内部留保資金等です。



上野原市立病院

# 市立病院政策と 光ファイバ 保守管理



久島博道議員

一、市長が八月臨時会で触れた病院政策は指定管理者が撤退しかねない内容であり、また私的に参加したシンポジウムでも同様の発言をした。

加えて県の地域医療再生計画も話したが、さも公に決定されたかの様な発言は如何なものか。

山梨建設新聞は病院建設予定地を旧上中跡地、入札は指名競争入札と報道したが、プロポーザルなど入札方法は如何に。

二、東部医療圏の再編ネットワークや病院の独立法人化は大月、都留市長とで協議したのか。

また、私的協議会は独法化ありきではないか。

三、病院への繰出金を寄付講座に流用する事は指定管理者との協定違反で運営に影響が出る。

四、公開討論会で国の補助金を使い十〜十五人の医師、看護師確保が可能と説明をしたが、当市は周産期病床が未設置で交付税の対象外だが。

五、光ファイバ維持管理費は三千万弱との説明だが、今年度の維持保守契約はいつ更新したか。

また光ファイバは地方自治法に則り物品で国へ届出済みだが、財産の未処分は違法との発言は誤りだと思つが見解は。

また、情報説明会であった職員いじめ問題で以前質問し、多くの市民から「市長自らの職員いじめか、吊し上げだ、パワーハラスメントだ」等の意見が寄せられた。

説明会の二日後にも嫌がらせ電話があり、威圧的言葉の暴力で職員は精

神的にトラウマ状態「退職したい」との職員に市長は謝罪し、カウンセリングを受けさせるべきだ。

## 【市長】

新聞記事は課長が言ったこと、入札は私が設置する協議会等で決めます。再編ネットワークは具体的協議をしていますが。

協議会は独立法人化ありきではない、将来の病院改革プランで経営形態見直しが考えられ、その中の一つです。

寄付講座は市政が代わって全てを見直すと言っており、検討します。公立病院に関する財政措置は前政権の時、当

市はやりませんでした。情報の維持管理費は諮問委員会で検証します。保守管理契約は八月に契約しています。

財産処分については法律のことで解りません。情報説明会の件は六月議会で答弁した通りです。

## 【企画課長】

保守契約は四月一日まで遡ってしています。数日前に契約した事は調査済みで、市に保守管理義務があります。

## 【意見】

議員であれ市長であれ、目的は市民を幸せにする事であり、政治の根本は人である。



光ファイバ

# 広域行政

## 東部広域連合

去る七月二十九日、東部広域連合議会七月定例会が都留市にある連合議会々議場で開かれました。今定例会の議案は連合を構成する各自治体から派遣されている職員の期末手当を、派遣元自治体の減額改定に合わせて改定する条例改正二件他計四件でした。

なお連合議会では議長・副議長・運営委員などの人事を、一年毎に構成自治体の持ち廻りとしていて、この七月定例会の後、交代しました。

上野原市に関するものは服部光雄が議長を辞任し関戸将夫が議会運営委員会委員長に就任した他、連合長も大月市長から江口上野原市長に代っています。

(註) 連合は上野原・大月・都留・丹波山・小菅・道志の三市三村で構成されています。

## 東部地域広域水道企業団

七月十四日東部地域広域水道企業団議会が出席議員十名にて開会され、当局提出の認定一議案を可決しました。

一、認定議案第一号 平成二十年度東部地域広域水道企業団水道事業会計決算認定の件 千円以下を切り捨てた、決算額の収益的収入は、十億六千七百七十七万九千円、支出は十一億六千二百七十四万五千で、税抜き後の純損失は、一億一千八百七十六万五千円。次に資本的収入ですが、

十五億二千九百六十五万五千円、支出は十九億一千三十六万四千円で、三億八千七十七万八千円の収入不足となり、当年度消費税資本的収支調整額、および、過年度分損益勘定留保資金などで補填しました。

# 7月～9月 議会活動

## 7月

- 14日 東部地域広域水道企業団議会定例会
- 22日 甲斐の塔維持管理委員会
- 23日 大月地域道路整備推進連絡協議会総会
- 26日 青少年の非行問題に取り組む市民大会
- 29日 山梨県東部広域連合議会定例会

## 8月

- 3日 第3回臨時会  
情報通信基盤整備事業検証特別委員会  
病院建設促進特別委員会
- 5日 文教厚生常任委員会  
議員定数検討特別委員会
- 10日 病院建設促進特別委員会
- 11日 情報通信基盤整備事業検証特別委員会  
山梨県市議会議長会議員合同研修（前期）
- 19日 山梨県市町村総合事務組合議会
- 26日 情報通信基盤整備事業検証特別委員会

## 9月

- 8日 第3回定例会開会
- 2日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 本会議（一般質問）
- 13日 敬老会（大目）
- 15日～17日 決算特別委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 18日 総務常任委員会
- 22日 西原地区戦没者慰霊祭
- 24日 文教厚生常任委員会
- 25日 建設経済常任委員会
- 27日 敬老会及び記念婚式（甲東・巖・秋山・島田）  
北富士駐屯地創立49周年記念式典
- 30日 第3回定例会閉会

# 市民の声

未来への希望をもって

大目地区区長会長

中村 勝

上野原市立病院の建設・談合坂SAのスマートインター設置・

大野貯水池一周の遊歩道開設・四方津駅周辺整備と駅舎建設などの推進を。

病院建設については、上野原市民の長年の願いであり一日も早く議会を通して建設に着手するよう希望するもの

です。

又、スマートインター利用者の多くの願望もあり早期の着工を望みます。

大野貯水池の遊歩道については、桜の名所でもあり上野原市の観光の名所としたい。

四方津駅建設は、関係地域の利用者の多くが都心まで通勤しているため中央特快の増便と共に、一日も早い駅舎の建設を望みます。

大野貯水池の遊歩道



大野貯水池の遠景

## あとがき

私たち古里の野山にも、晩秋の気配を心身に深く感じる季節が参りました。

議会だより第十九号にも、県下十三市の基礎的状況を掲載しました。

また、市長提出の議案も、一覧表で審議結果を報告しておりますが、解りやすくなりましてでしょうか。

一人でも多くの市民の皆様読んで頂くことが、編集委員全員の使命だと念じて努力しております。

- 編集委員長 尾形 幸召
- 副委員長 田中 英明
- 委員 杉本 友栄
- 委員 長田喜巳夫
- 委員 鈴木 敏行
- 委員 山口 好昭

印刷／上野原市桐原 七三六

中島印刷株式会社  
（〇五五四）二〇五五六



この広報は、環境保護に配慮した再生紙と、植物性大豆油インキを使用しています。